



オリーブ便り Olive News

2017.07.01

No. 397



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

がんサロン・がんカフェへようこそ

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、5月18日にがんサロンを開催しました。講演は腫瘍センター柘植臨床心理士による「心のケアについて」と、がん相談支援センター小田MSWによる「医療費について」が行われました。講演後の語らいの時間では、患者さんの不安や悩みの率直な話し合いがなされました。

次回は7月20日に音楽療法士による特別講演を予定しています。

また6月より、偶数月第3木曜に現在治療を受けているがん患者さんやそのご家族の方がお茶を飲みながら話しあう、くつろぎ空間としてのカフェ「おリーブ」を2カ月に1度開催しております。お気軽にお越しください。



香川県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会及び平成29年度第1回肝疾患専門医療従事者研修会の開催について

医療支援室

平成29年4月25日(木)18:30より香川県社会福祉総合センターにおいて香川県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会が開催されました。この協議会は香川県における肝炎治療を適切かつ円滑に実施するため年2回開催されています。

この日は正木副病院長による議長・進行のもと、市民公開講座・肝臓病教室の開催予定、かがわ肝疾患ネットワーク(冊子)の配布について、協議、報告がありました。

協議会終了後には、肝炎専門医療従事者研修会が実施されました。

本研修会には、県内約80名の医療従事者が参加し、香川県における肝炎対策として肝炎治療医療費助成制度の説明や現状報告が行われました。

また正木副病院長より、ウィルス肝炎の最新治療に関する講演も行われ、今後の地域における肝疾患診療体制の充実・向上に繋がる研修会となり閉会しました。



イキイキさぬき健康塾

香川大学医学部附属病院 医療セミナー

イキイキさぬき健康塾 - 香川大学病院と最新医療 -
平成29年7月よりケーブルTVで放送開始予定です

高松市内で定期的に行っている医療セミナー「イキイキさぬき健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで7月より放送予定です。※7月中は昼と夜に約30回リピート放送予定です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

腎臓は毎日200ℓもの血液をろ過して、老廃物を尿として体外に排泄します。また、体液量や血圧調整を行ったり、ミネラルのバランスを保ったり、血液を作るホルモンを分泌したりと多くの働きがあります。腎臓は私たちの健康においてまさに“肝腎かなめ”の臓器です。

CKD(Chronic Kidney Disease)とは慢性腎臓病のことで、蛋白尿や腎機能低下が続く状態です。今や国民の8人に1人がCKDだと報告されています。CKDの初期の段階では自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに末期腎不全・透析に至るだけでなく、心臓血管病や脳卒中を引き起こすことがあります。

慢性腎臓病は様々な原因で発症します。年をとると腎機能は低下していきますから、特に高齢者になるほどCKDの方の割合が多くなります。実は高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、肥満等の生活習慣病が慢性腎臓病の大きな原因になっています。

慢性腎臓病かどうかは、尿の検査(タンパク尿の有無)に加えて、血液の検査から判断することができます。血液検査でクレアチニン(Cr)という検査を行うと、推算GFR(ジーエフアール)という値が自動的に算出されます。この推定GFRという値は現在の腎臓の機能を示します。20歳の健康な人では100前後ですが、60歳の平均は80、80歳の平均は60です。60未満が3か月以上持続していれば慢性腎臓病と診断されます。さらにGFRが15以下に下がってくると末期腎不全と呼ばれる状態になり、人工透析や腎移植などの治療が必要になってきます(図1)。腎臓は末期になるまで症状がなく、いったん悪くなると元には戻らないので特定健診などの定期的な検査で早期発見することが重要です。

慢性腎臓病の原因は様々ですが、原因が慢性腎炎等であれば、免疫抑制剤などの専門治療が必要になるため、県内に約35名いる腎臓専門医での治療が必要になります。それ以外の高血圧、糖尿病などを原因とする場合はかかりつけ医で治療を開始します。治療は塩分制限による食事療法が中心となり、CKDの方は一日塩分摂取を6g以下に減らす必要があります。また、高血圧は腎臓病悪化の原因となりますので、CKDの方では130/80mmHg以下までしっかりと血圧を下げるのが重要です。また、糖尿病はCKDの最も多い原因ですので、糖尿病の方は、ヘモグロビンA1c値を7.0%以下にしておくことが重要です。また、タバコは心筋梗塞や脳梗塞だけではなくCKDの方の腎機能の低下を早めますので、禁煙も非常に重要です。

CKDは人工透析の予備軍ともいえますが、香川県CKDの方の割合が全国平均よりも高いです。末期腎不全になってしまうと、一生人工透析を続けなくてはなりません。香川県でも2014年から本格的に県を中心にCKD対策事業を始めました。2015年度の特定健診から、CKDが疑われる特定健診受診者に対して、保健師さんからの保健指導、もしくは内科かかりつけ医への受診勧奨が行われており、市町からお手紙を送っています(図2)。この基準を満たす検診受診者は県内で12000人もいらっしゃいます。

慢性腎臓病は今や国民病であるにもかかわらず、認知度がまだまだ低いことが問題です。人工透析や心臓血管病になってしまうと生活の質は損なわれますので、症状のないCKDの段階から対策を行うことが重要です。

そのためには、毎年の検診にて腎機能検査と尿検査を行い、早期発見を行うことが重要です。今回のお話で慢性腎臓病について少しでも認知度が高まればと思います。

●病気の進行と治療



(図1)



注: 70歳以上は①

(図2)

**四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には
許諾されていないため、転載記事を除きました。**

四国新聞 2017年(平成29年)4月14日(金曜日)掲載(四国新聞に転載について許諾済み)

手術の痛みの最新治療～痛みは我慢しないで～

香川大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック科 武田 敏宏

「痛み」は何のためにあるのでしょうか？私たちは痛みを感じるととても不快な気持ちになります。痛みによって、傷つくことが生体にとって不都合であり、極力避けなければならないものだと認識させられるわけです。つまり、痛みは体を傷つけないために、または、体のどこに不具合が生じているかを本人に気づかせるためのシグナルの役目を担っています。

かつては、障害の箇所を知るためには、痛みの部位を確認することがとても重要でした。しかし、検査・診断技術が進歩した今日の医療では、「痛み」は術後合併症の診断のために必ずしも必要ではなくなりました。むしろ、手術後の痛み（術後痛）によって、合併症が増え、術後の回復が遅れてしまいます。たとえば、腹部の術後痛のために深呼吸や咳ができなければ、肺炎や無気肺などの呼吸器合併症が増えます。痛みによって血圧の上昇や、頻脈が生じ、不整脈、狭心症、心筋梗塞などの循環器合併症も増えます。そのほか、内分泌異常、免疫機能低下、血液凝固異常など様々な合併症の危険性が増します。本来、術後痛は手術直後から術後24時間までが最も強く、それ以降は時間の経過とともに和らいでいきますが、術後痛を治療しないことによって、傷が治ったあとも数か月から数年にわたり痛みが続く「慢性痛」に移行することがあります。

当院では、麻酔科医・看護師からなる術後痛管理チームで術後の患者さんを診察・治療しています。当チームの術後痛管理の目標は、①術後痛を抑えて患者さんの苦痛を取り除く、②術後合併症の発症を減らす、③術後回復を促進する、④術後慢性痛の発症を減らすことです。具体的には、硬膜外麻酔、末梢神経ブロックや自己調節鎮痛法（PCA）などの様々な鎮痛法を駆使し、術後痛治療を行っています。

我が国では、我慢することが美德とされがちですが、術後合併症や慢性痛の発症を減らし、術後回復を早めるためには、術後痛を我慢せずに治療してもらうことが大切です。

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長

医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに對して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H29.7～8月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
7/6 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:食べ物のグループ分け 医師:目指せ糖尿病クイズ王!	臨床栄養部	(087)891-2066
7/20 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:お菓子我慢できる?! 歯科衛生士:歯周病は糖尿病の第6の合併症	臨床栄養部	(087)891-2066
7/23 日	11:00～12:00	丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町老番街東第4階	イキイキさめぎ健康塾～香川大学病院と最新医療～ 「生活習慣病の食事の摂り方の工夫」	総務課	(087)891-2008
8/10 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:大切な水分補給のお話 医師:糖尿病のウン・ホント?!	臨床栄養部	(087)891-2066
8/19 土	13:00～17:30	かがわ国際会議場高松ソルタワー6階	第8回臨床研究・治験四国協議会	臨床研究支援センター	(087)891-2345
8/24 木	14:00～15:00	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:野菜クイズ! 理学療法士:なぜ運動は体によいのか	臨床栄養部	(087)891-2066
8/25 金 8/26 土	25日 9:00～ 26日 17:00～	サンポートホール高松 他	第40回日本母子胎児医学学会学術集会	周産期学婦人科学	(087)891-2174
8/27 日	13:30～16:15	かがわ国際会議場	日本肝臓学会 ウイルス性肝炎 市民公開講座	消化器・神経内科	(087)891-2156

平成30年度 看護職員募集

看護師・助産師

50名募集

受付期間

平成29年6月1日(木)～
平成30年1月9日(火) 17時必着

試験日

8月5日 日

10月14日 日

12月9日 日

平成30年1月20日 日

応募締切日

7月25日 四

10月3日 四

11月28日 四

平成30年1月9日 四

お問合せ先 087-891-2013(総務課人事係)

編集委員会(50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、
笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、
田中(看護)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、
横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事)
〔委員長 横見瀬病院長〕